



『炭』を話題に地域の産業を学ぶ

宮川 敏彦

センターの「父親参加」の事業では、去年と今年、「高知県の伝統産業である木炭」を題材に、各地の小・中・高等学校で産業、歴史、科学などを勉強しようと取り組んでいます。今年は、室戸高校で授業(7月)、続いて、市民・生産者の応援で高校主体の公開講座(8月)も実現。製炭業に就職して、土佐備長炭に生きる高校定時制の生徒さんと友人の青年が体験報告をし、他の生産者・利用者との交流も深めました。

室戸の炭も将来がたいへんだとつらい思いをしていましたが、28歳のこの2人を含め、3人、4人と担い手が増えて、現在高知県内には6人ほどの若い働き手ががんばっています。更に来年には、新しい青年も加わる予定です。こうして、大先輩、中堅どころ、青年と、各世代がそろって土佐の備長炭を育てていく時代が始まりました。本当にうれしいことです。

父親教室といっても、母親参加でも、地域の住民参加でもよいわけで、小学生も高校生も学ぶことが多いと思います。室戸市は、土佐備長炭の発祥地ですから、地域の関心も高く、高校がこんな機会を作ってくださったことで、市会議員、生産者、市役所の職員、高校の大先輩、卒業生、全日制・定時制の先生など、生徒さんに混じって学習と交流をしました。

センターでは、備長炭学習のパネル教材を30枚、学習テキスト『やさしい炭の話』を作成して応援して

います。これから、高知市の鏡中学校でも予定。高知農業高校林業科1年生でも昨年に続き3学期に実施されます。

『やさしい炭の話』

(14ページ・カラー)

学習資料 土佐備長炭 萩原敏彦 炭の科学 山本昌平

やさしい炭の話 土佐備長炭
炭の科学ABC

発行 NPO高知県生涯学習支援センター

土佐備長炭と炭の科学について基礎的な内容のガイドです。これだけで十分理解していただけるように作りました。多くのみなさんにもご覧いただきたいと思います。

少し余裕がありますので、ご希望の方は

NPO高知県生涯学習支援センター

(電話)088-833-0022)

までご連絡下さい。

(文/宮川)

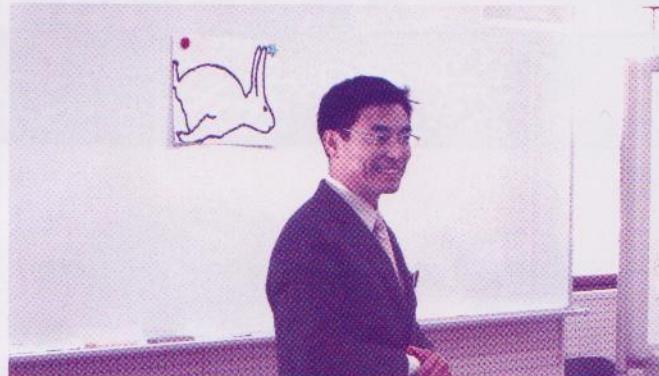
「不登校」の“これまで”と“これから”

山波 嘉律雄

文部科学省が発表した学校基本調査速報によると、昨年度（平成17年度）の「不登校」を理由とする長期欠席者数（年間30日以上）は12万2,255人（前年度比1,103人減）だった。4年連続で不登校者数は減少となったが、全児童生徒に占める割合は0.01%減少の1.13%（89人に1人）となった。県内においては、小中学校の不登校児童・生徒の合計は894人と前年度とほぼ横ばいだった。1,000人当たりの不登校児童・生徒数も13.7人で前年と変わらず、全国で4番目に高い割合となった。

不登校者、高校中退者の割合が全国1位となった過去をもつ高知県は家庭的要因が多くを占めると言われてはいるが、それだけではない。情報化社会に伴い子供の発達や知的好奇心は個人差が大きく、個性の差が開いたのにかかわらず、学校教育が画一的な体制を脱せなかったことも重要な要素であると考えられる。

私は、からの不登校支援の根底には「生きる力」の回復というものが絶対必要条件であると考える。私は、これまで面談、指導を含め約100人近くの不登校、もしくは不登校経験者の子供たちと接してきた。その経験の中で言えることは、不登



平成16年度 第3回 進路相談会

校となる原因は一つではなく、不登校となるまでにはさまざまな要因が絡まって、「生きる力」というものが極端に弱まった結果であろうと考える。私が考える「生きる力」とは、自分のやりたいことをまず見つけ、やりたいことをするにはどうするかを考え、そして、周りの人間の力を借りながら具体的に行動を起こしていくということである。そして、子供たちの“これまで”を尊重し、“これから”を支援するうえで、学校は学校ができる事を、社会は社会ができる事を、本人は本人ができる事をしていく。それがそれぞれの責任であると思われる。それぞれの立場で、それぞれの守備範囲でできる事をしていくということがこれから求められる理想の支援といえるのではないだろうか。



今、若者に向かい合う中で
小草栄喜先生



平成16年度 第2回 進路相談会

平成18年度 第1回 進路相談会

「不登校・高校中退者のための進路相談会」 ～実施報告～

日 時／平成18年9月16日（土） 午前10時～午後1時30分
場 所／高知県教育センター分館 南棟1階 大講義室

● 基調講演

第1部…前田正也氏（高知中央高等学校長）
第2部…浜田幸広氏（株式会社 浜幸 代表取締役）

● 参加団体からのメッセージ（15団体）

教育機関（公的）… 5団体
教育機関（民間）… 7団体
留学機関 … 1団体
親 の 会 … 1団体
企業団体 … 1団体

● 個別相談・説明会

各団体ごとに個別相談、説明ブースを設置

● 参加者数

73名



9月16日（土）高知県教育センター分館にて「平成18年度 第1回 不登校・高校中退者のための進路相談会」が行われました。当日は天気が悪く、雨が降る中にもかかわらず、たくさんの不登校生や高校中退者の参加がありました。基調講演では前田正也氏、浜田幸広氏の応援的メッセージに真剣に耳を傾けている姿が目立ちました。また、個別相談会・説明会ではたくさんの具体的な相談が寄せられました。参加者の意見として、情報不足が解消された・子どもにやる気がでてきた・同じ悩みを持つ方との交流ができる・将来について前向きに考えることができる、などの意見が寄せられました。



インフォメーション

あなたも学んでみませんか!

高知県生涯学習支援センターは、「目指すところは生涯の学び、いつでも、誰でも、どこでも学べる社会の創造」をモットーに高知県の生涯学習を支援しています。

この活動の一環として、文化教室・講座を順次開設しています。開設予定の講座は下記とおりです。ぜひ、ご参加ください。また、今まで学んできたことを教えてあげたい、講座を開設したいという方もご連絡ください。

《開設を予定している講座・教室》

- 社交ダンス教室 ○パソコン教室
- 絵手紙教室 ○料理教室 ○着付け教室
- 茶道教室 ○ゴルフ教室 ○メイク教室
- ネイル教室 ○めがね教室 ○コーヒー教室
- バレー・ポール教室 ○写真教室 ○書道教室
- ケーキ教室 ○家庭菜園教室 ○手編み教室
- ミシンキルト教室 ○パッチワーク教室
- ビーズ教室 ○洋裁教室
- リフォーム(洋服)教室
- スクラップブッキング教室
- トールペイント教室 ○刺繍教室 等

あなたもKOLEC会員になりませんか?

KOLECとは

NPO高知県生涯学習支援センターの愛称です!!



生涯学習の目的は、個人が多様なキャリアを選択出来るような職業的自立を図るための学習基盤を提供すること。また、豊かな生活と豊かな地域をつくること、助け合い支え合う人間関係を作ることに基盤を置くことです。

「目指すところは生涯の学び、何時でも、誰でも、何処でも学べる社会の創造」をモットーに、私たちは今後、国・高知県の基盤構想、答申などに基づき、高知県・教育委員会・教育センター・関連NPOなどと共同で高知県の生涯学習を支援していきます。

♪会員特典♪

しばてんカレッジや参加費等の必要な行事の
参加費割引特典!
各行事に優先的に参加できるよう優遇!
KOLECニュースレター発送!



発行 2006年11月7日
NPO高知県生涯学習支援センター(KOLEC)
〒780-8031
高知市大原町132番地(教育センター分館内)
電話 088-833-0022 FAX 088-833-0023
KOLEC 電話進路相談の電話 088-833-0086
電子メール info@kolec.jp
URL <http://www.kolec.jp>
発行人 理事長 山本晋平
編集 NPO KOLEC編集室/印刷 中島出版印刷

